

福島地方環境事務所の最近の動き
(今週の福島)

【最近の動きのポイント】

○ 除染・廃棄物対策関連

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です
- ・富岡町夜の森地区の桜並木周辺等の除染が概ね完了しました

○ 中間貯蔵施設関連

- ・中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会（第 10 回）を開催しました（3/19）
- ・中間貯蔵施設の見学会（第 2 回）を開催しました（3/21）

< 除去土壌等の輸送の進捗状況（3/19 時点） >

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 178.7 万 m ³	約 99.3%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 257.3 万 m ³	約 18.4%

○ リスクコミュニケーション等関連

- ・自治体職員や相談員等の活動の支援、住民の放射線に関する理解醸成の支援、環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です

I. 除染・廃棄物対策関連

1 特定復興再生拠点区域の解体・除染について

帰還困難区域内における特定復興再生拠点区域において、各町村の策定した計画に基づき、家屋等の解体・除染を実施しています。

○ 最近の動き

- ・双葉町、大熊町、浪江町、富岡町、飯舘村及び葛尾村の特定復興再生拠点区域において、建物等解体撤去等及び除染等工事を実施中です。

詳細は別添 1、3 のとおり

- ・富岡町夜の森地区の桜並木周辺等について、一部宅地などを除き、除染が概ね完了しました。夜の森桜並木は約 2.5km にも及ぶ富岡町のシンボリック存在です。

別添 4 のとおり

2 避難指示解除済み地域等の除染・廃棄物処理関連事業について

帰還困難区域を除き、3 月に 8 県 100 市町村のすべてで面的除染が完了し、必要なフォローアップ等を実施しています。

各市町村において、必要な被災家屋等の解体等の廃棄物処理を実施しています。

仮置場で除去土壌・廃棄物等を保管しています。搬出が終わった仮置場については、順次、早期の解消を目指し原状回復を実施しているところです。

- 除染事業及び被災家屋等の解体等の実施状況（除染特別地域、汚染廃棄物対策地域）
別添 1 のとおり

- 特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況
別添 5 のとおり

II. 中間貯蔵施設関連

中間貯蔵施設の整備及び除去土壌等の中間貯蔵施設への搬入を実施しています。

（1）最近の動き

- 中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略検討会（第 10 回）を開催しました（3/19）

今般の検討会では、

① 中間貯蔵除去土壌等の減容・再生利用技術開発戦略の進捗状況の報告と技術開発戦略の見直し（案）の提示

② 「再生利用の手引き（案）」の提示

などを行い、御議論いただきました。

詳細はこちらから御確認ください（中間貯蔵施設情報サイト）

http://josen.env.go.jp/chukanchozou/facility/effort/investigative_commission/proceedings_190319.html

○ 中間貯蔵施設の見学会（第2回）を開催しました（3/21）。

福島復興にご関心のある方など7名が参加され、バスから施設や工事現場をご覧いただき、中間貯蔵施設事業への理解を深めていただきました。次回の見学会の日程については、中間貯蔵工事情報センターのウェブサイト等でお知らせします。

○ 除去土壌等の輸送の進捗状況（3/19時点）

今年度の輸送対象物量	今年度搬出済量	今年度進捗率
約 180 万 m ³	約 178.7 万 m ³	約 99.3%
累積の輸送対象物量	累積搬出済量	累積進捗率
約 1,400 万 m ³	約 257.3 万 m ³	約 18.4%

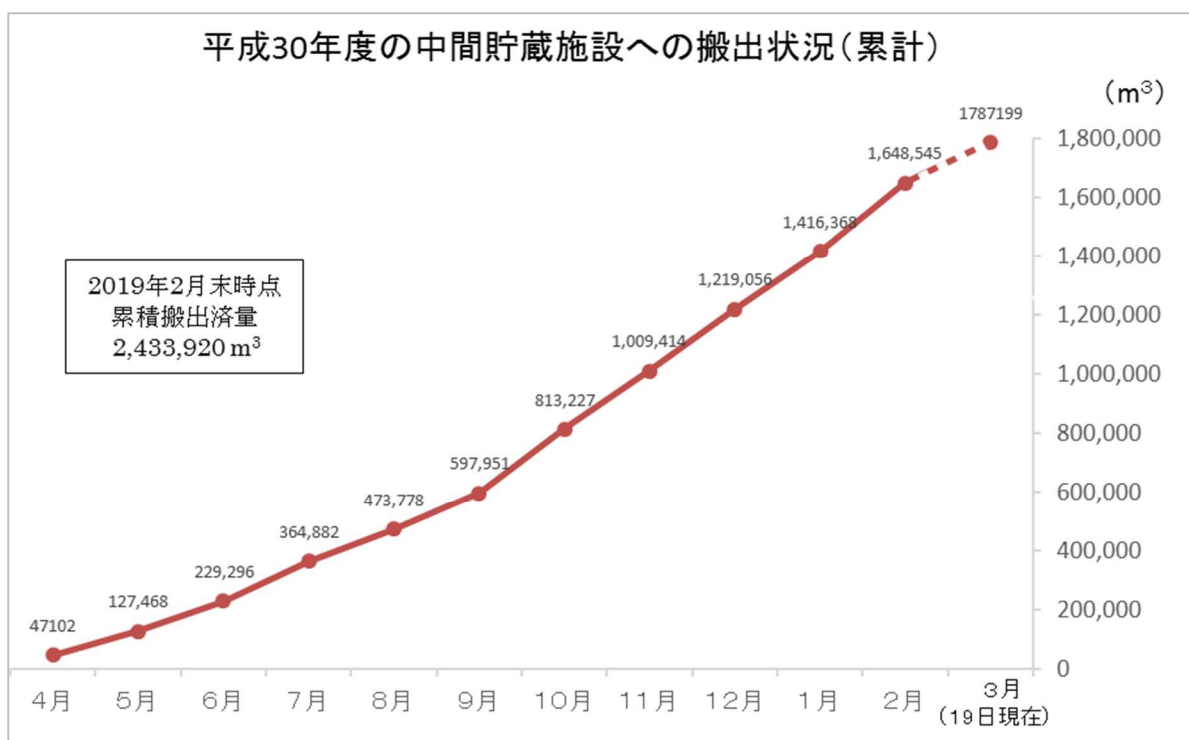
（2）平成30年度の進捗状況

○ 除去土壌等の輸送

（3月19日までの搬出実績）

搬出市町村		今年度の 搬出可能量 (m ³)	今年度の 学校等(現場保管) からの輸送予定量 (m ³)	今年度の 搬出済量(m ³)	累積 搬出済量 (m ³)
浜通り	いわき市	22,200	7,800	32,238	54,660
	相馬市	16,100	－	13,836	30,782
	南相馬市	113,200	－	109,913	139,638
	広野町	31,900	－	33,000	44,041
	楡葉町	72,400	－	79,168	118,890
	富岡町	162,400	－	164,330	207,779
	川内村	42,400	－	43,912	58,531
	大熊町	147,000	－	124,713	177,685
	双葉町	132,700	－	105,625	152,573
	浪江町	130,300	－	122,113	158,776
	葛尾村	71,400	－	80,958	97,487
	飯舘村	151,600	－	148,329	176,626
中通り	福島市	78,700	20,000	88,865	113,779
	郡山市	67,200	20,900	131,122	194,490

	白河市	33,800	100	42,140	66,701
	須賀川市	22,000	3,600	32,961	47,886
	二本松市	50,000	－	53,221	97,002
	田村市	47,800	300	49,194	78,269
	伊達市	62,600	6,000	61,050	81,992
	本宮市	20,600	－	22,141	45,426
	桑折町	19,200	－	20,792	37,473
	国見町	16,300	－	16,303	27,667
	川俣町	71,600	－	59,891	82,207
	大玉村	13,700	－	15,541	24,806
	鏡石町	0	300	323	7,980
	天栄村	16,100	－	15,799	25,508
	西郷村	54,900	－	57,883	78,972
	泉崎村	15,200	－	16,842	27,273
	中島村	6,400	－	5,845	14,150
	矢吹町	13,900	－	12,095	21,701
	三春町	24,400	－	27,056	44,674
	合計	1,728,000	59,000	1,787,199	2,572,574※



※ フレキシブルコンテナ等1袋の体積を1 m³と換算しています。

※ 輸送対象物量1,400万m³は、中間貯蔵施設への搬出済量（国直轄除染市町村：2018年11月末、市町村除染市町村：2018年9月末時点、両者混在市町村（南相馬市、川内村、田村市、川俣町）：2018年11月末）及び輸送待機量（焼却前の可燃

- 物を含む仮置場等で保管している量（国直轄除染：2018年11月末時点、市町村除染：2018年9月末時点）及び仮設焼却施設等で減容化し保管されている量（国直轄除染：2018年11月末時点、市町村除染：2018年9月末時点）の合計量。
- ※ 輸送対象物量 1,400 万 m³には、10 万Bq/kg超の廃棄物、その他現時点で定量的な推計が困難な帰還困難区域の除染等で発生した（発生することが見込まれる）除去土壌等は含まれていません。
 - ※ 累積搬出済量の合計値には、2018年6月末時点で搬出が完了している市町村の搬出量が含まれているため、記載されている市町村の累積搬出済量の合計とは数字が一致しません。
- 中間貯蔵施設及び周辺の空間線量率等
こちらから御確認ください（中間貯蔵施設及び周辺モニタリング（JESCO サイト）
<http://www.jesconet.co.jp/interim/operation/monitoring.html#hokanba>
 - 中間貯蔵施設に係る工事等について
工事等の一覧は別添 2 のとおり

Ⅲ. 放射線健康リスクコミュニケーション等関連

- ① 自治体職員や相談員等の活動の支援、②住民の放射線に関する理解醸成の支援、③環境再生等に関する情報発信等の活動を実施中です。
- （1）最近の動き
- 環境再生プラザにおいて専門家派遣・モニタリング支援（説明・測定・資料作成支援）・移動展示等を実施中です。
 - 放射線を可視化するガンマカメラを活用した、住民向けリスクコミュニケーション支援事業について、今年度の事業内容をすべて終了いたしました。
 - 富岡町において、ホールボディ・カウンタによる内部被ばく線量測定を実施しています（3/20～23）。
 - 環境再生プラザでは、福島環境再生に関する様々なトピックを「環境再生レポート」として発信しています。
 - ・ vol. 12「人と人とをつなぐ、0 CAFE（オカフェ）という居場所づくり」
http://josen.env.go.jp/plaza/restoration/report_190312.html
 - 震災後の福島で暮らす皆さんの不安や悩みになすびさんがお答えする「なすびのギモン パート 6」が放送されました。
 - ※過去に放送された動画は、環境再生プラザのホームページでご覧いただけます。
<http://josen.env.go.jp/nasubinogimon/>

(2) これまでの実施状況

(3月22日時点)

項 目		実施回数	
		H29 年度	今年度
① 自治体職員や相談員等の活動の支援	(ア) 職員向け研修会	77 回	36 回
	(イ) 専門家派遣	47 回	20 回
②住民の放射線に関する理解醸成の支援	(ア) 住民セミナー	72 回	38 回
	(イ) 車座意見交換会	62 回	57 回
	(ウ) 個人線量測定の実施(WBC)	83 日	86 日
	(エ) リスクコミュニケーション拠点（長崎大、弘前大）による活動		
	(オ) ガンマカメラ活用リスクコミュニケーション支援事業	184 台・日	180 台・日 (完了)
③環境再生等に関する情報発信（環境再生プラザ）	(ア) 専門家派遣	142 件	150 件
	(イ) 移動展示	42 件 [55 日]	45 件 [62 日]

除染事業及び被災家屋等の解体等の工事一覧
(除染特別地域、汚染廃棄物対策地域)

市町村	工事名
南相馬市	○平成 29 年度南相馬市環境復旧等工事 (H30/2/13～) ※H31. 3 月に完了 ○平成 30 年度南相馬市仮置場復旧等工事 (H31/1/23～) ※H31. 2 月に着工 ○平成 30 年度南相馬市建物解体等撤去工事 (H30/8/8～) ※H31. 3 月に完了
浪江町	○平成 30 年度浪江町仮置場復旧等工事 (H30/5/15～) ※H30. 7 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/6/20～)</u> ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 30 年度浪江町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/29～)</u> ※H31. 2 月に着工 ○平成 29 年度浪江町建物解体等撤去工事 (H30/1/25～) ※H31. 3 月に完了 ○平成 30 年度浪江町被災建物等解体撤去工事 (H30/4/11～) ※H30. 6 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請 (特定復興再生拠点区域) を受付中
双葉町	<u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H29/12/4～)</u> ※H31. 3 月に完了 <u>○平成 29 年度双葉町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H30/1/10～)</u> ※H30. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中
大熊町	○平成 30 年度 (平成 29 年度繰越) 大熊町仮置場復旧等工事 (H30/7/19～) ※H30. 8 月に着工 <u>○平成 29 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 1) (H30/1/25～)</u> ※H30. 3 月に着工 <u>○平成 30 年度大熊町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び除染等工事 (その 2) (H31/1/24～)</u> ※H31. 2 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

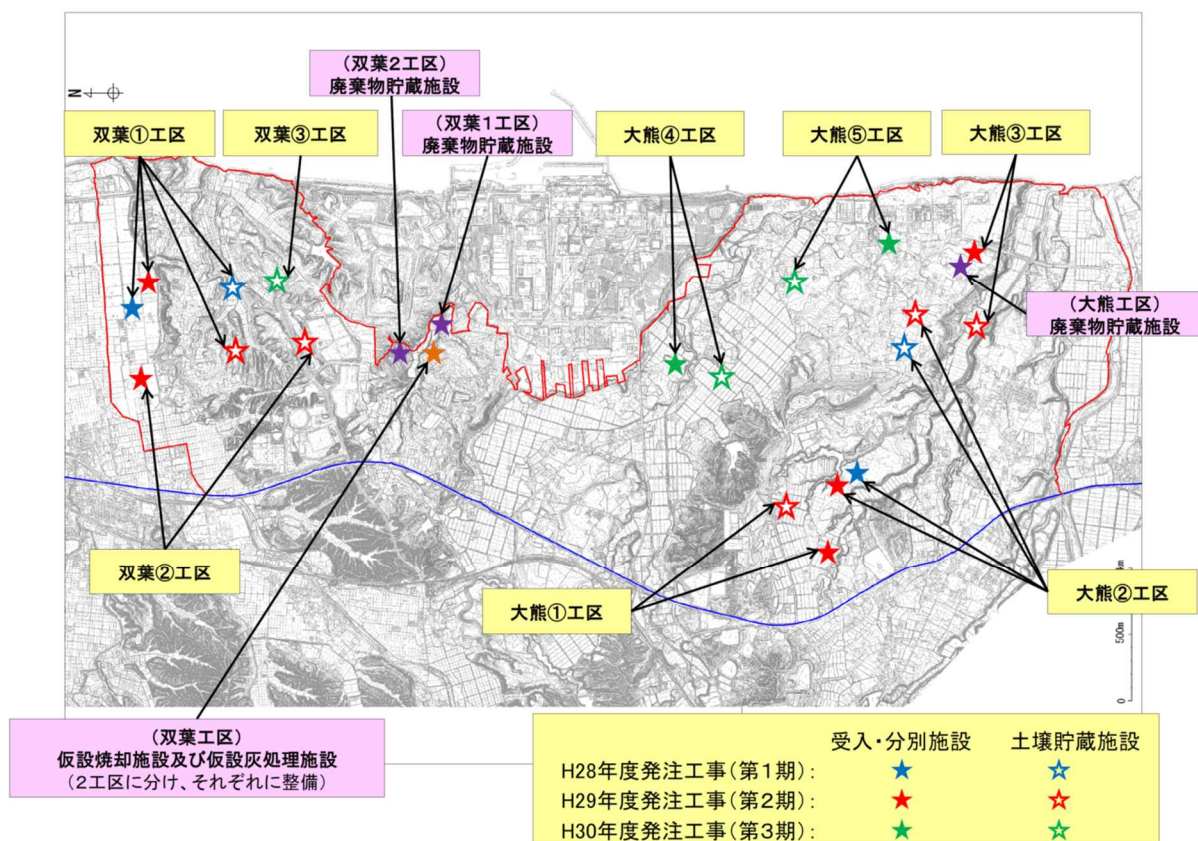
市町村	工事名
富岡町	○平成 29 年度(平成 28 年度繰越)富岡町除染等工事(夜の森地区他) (H29/5/22～) ※H31.3 月に完了 <u>○平成 30 年度富岡町特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事(その1)(H30/8/7～)</u> ※H30.8 月に着工 ○平成 29 年度富岡町建物解体等撤去工事(その2)(H29/12/27～) ※H30.3 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中
檜葉町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)檜葉町仮置場復旧等工事(H30/7/5～) ※H30.8 月に着工 ○平成 30 年度檜葉町建物解体等撤去工事(H30/7/9～) ※H31.3 月に完了
飯舘村	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)飯舘村仮置場復旧等工事(H30/4/10～) ※H30.4 月に着工 <u>○平成 30 年度飯舘村特定復興再生拠点区域被災建物等解体撤去等及び 除染等工事(H30/9/5～)</u> ※H30.9 月に着工 ○平成 30 年度飯舘村建物解体等撤去工事(H30/4/13～) ※H31.3 月に完了 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付終了
川俣町	○平成 30 年度(平成 29 年度繰越)川俣町仮置場復旧等工事(H30/6/29～) ※H30.6 月に着工 ○平成 30 年度川俣町仮置場復旧等工事(その2)(H31/3/1～) ※H31.3 月に着工
葛尾村	<u>○平成 30 年度葛尾村汚染廃棄物対策地域における被災建物等解体撤去 等及び除染等工事(H30/10/9～)</u> ※H30.11 月に着工 ○被災家屋等の解体撤去申請(特定復興再生拠点区域)を受付中

(注) 下線は特定復興再生拠点区域に係る解体・除染工事

中間貯蔵施設に係る工事等の一覧

	工事名
土壌貯蔵施設等	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（双葉町）（H28/6/14～） ※H28.11 月に着工、H29.12 月貯蔵開始
	○平成 28 年度中間貯蔵施設の土壌貯蔵施設等工事（大熊町）（H28/6/14～） ※H28.11 月に着工、H29.10 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.10 月に着工、H30.9 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H30.1 月に着工、来年度春に貯蔵開始見込み
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 1 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.11 月に着工、H30.7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 2 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/11～） ※H29.9 月に着工、H30.7 月貯蔵開始
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H29/5/18～） ※H29.11 月に着工、H30.10 月貯蔵開始
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 3 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/6～） ※H30.9 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 4 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/5～） ※H30.12 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵（大熊 5 工区）土壌貯蔵施設等工事（H30/4/10～） ※H30.10 月に着工
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（双葉町）（H31/1/10～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設の受入分別処理工事（大熊町）（H31/1/10～）
廃棄物関連施設	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 1 業務（H30/3/1～） ※H31.1 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その 2 業務（H30/3/1～） ※H31.1 月に着工、H31 年度内に稼働予定

	工事名
	○平成 29 年度中間貯蔵（双葉工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/9～） ※H30.6 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 29 年度中間貯蔵（大熊工区）廃棄物貯蔵施設工事（H30/3/8～） ※H30.7 月に着工、H31 年度内に稼働予定
	○平成 30 年度中間貯蔵（双葉 2 工区）廃棄物貯蔵施設工事（H31/3/11～）
その他 施設等	○平成 29 年度中間貯蔵に係る焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H29/12/23～）
	○平成 29 年度保管場等整備工事（大熊町・双葉町）（H30/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内他道路工事（H30/7/19～）
	○平成 30 年度焼却灰保管場設置等工事（大熊町・双葉町）（H30/8/24～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域内家屋等解体工事（大熊町・双葉町） （H30/10/25～）
	○平成 30 年度中間貯蔵に係る保管場設置等工事（大熊町・双葉町） （H30/12/22～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（双葉町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設区域境界植栽工事（大熊町）（H31/1/17～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（双葉町） （H31/1/19～）
	○平成 30 年度中間貯蔵施設に係る除去土壌等輸送工事（大熊町） （H31/1/19～）

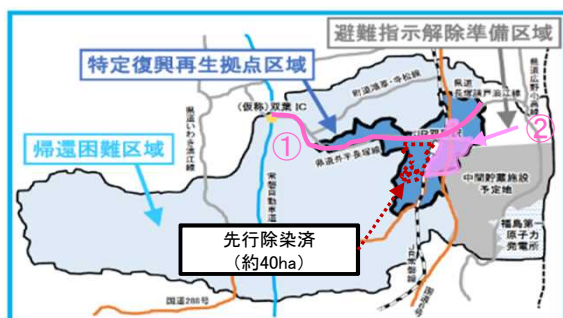


特定復興再生拠点区域整備の状況 (2019年3月22日時点)

別添 3

- 福島復興再生特別措置法の改正(H29.5)により、将来にわたって居住を制限するとされてきた帰還困難区域内に、避難指示を解除し、居住を可能とする「特定復興再生拠点区域」を定めることが可能となった。
- 市町村長は、特定復興再生拠点区域の設定及び同区域における環境整備（除染やインフラ等の整備）に関する計画を作成。同計画を内閣総理大臣が認定し、復興再生に向けて計画を推進（計画認定から5年を目途に避難指示解除を目指す）。
- これまでに、以下6町村の計画が認定され、全ての町村において解体・除染等工事を実施中。

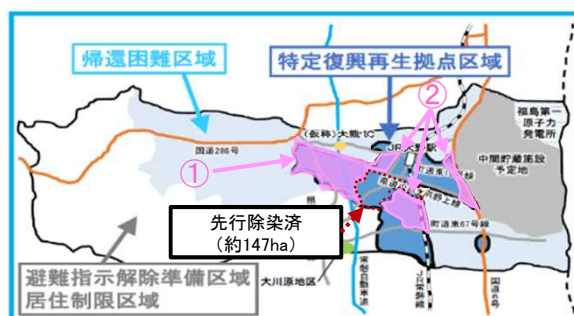
双葉町(2017.9.15認定、約560ha)



【工事状況】:2017.12.25着工

- ①復興シンボル軸(解体55件、除染約7ha): 実施中
- ②駅東地区(解体640件、除染約90ha): 実施中

大熊町(2017.11.10認定、約860ha)



【工事状況】:2018.3.9着工

- ①下野上西地区(解体460件、除染約160ha): 実施中
- ②駅周辺西地区、国道6号線沿線、下野上南地区(解体300件、除染約140ha): 実施中

浪江町(2017.12.22認定、約660ha)



【工事状況】:2018.5.30着工

- ①一部道路の除染等工事(除染約4ha): 完了
- ②室原、末森、津島地区(解体160件、除染約290ha): 実施中

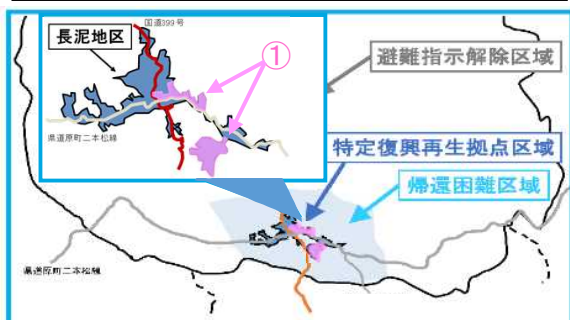
富岡町(2018.3.9認定、約390ha)



【工事状況】:2018.7.6着工

- ①夜ノ森駅周辺(除染約0.3ha): 完了
- ②拠点北地区(解体300件、除染約80ha): 実施中

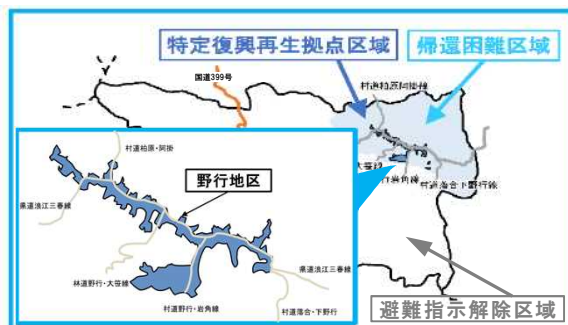
飯舘村(2018.4.20認定、約190ha)



【工事状況】:2018.9.28着工

- ①長泥地区の居住促進ゾーン(解体20件、除染約30ha): 実施中

葛尾村(2018.5.11認定、約95ha)



【工事状況】:2018.11.20着工

- ①野行地区(解体10件、除染約0.5ha): 実施中

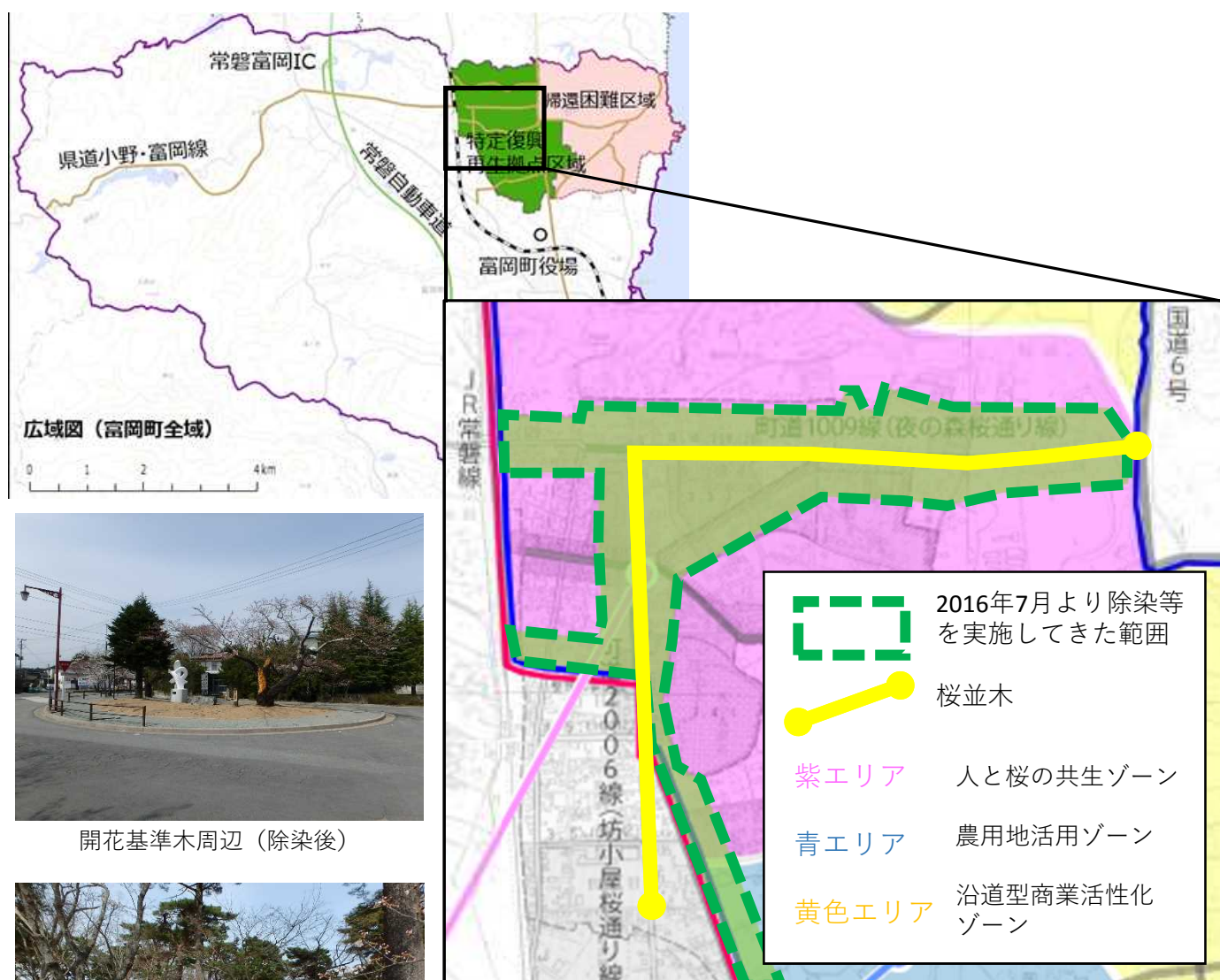
※ 一部周辺地区においても解体・除染工事等を実施中

富岡町夜の森桜並木周辺の除染について

このたび、富岡町夜の森地区の桜並木周辺等について、一部宅地などを除き、除染が概ね完了しましたのでお知らせいたします。

夜の森地区の桜並木は、約2.5kmにも及ぶ富岡町のシンボルの存在です。2019年4月に開催される『富岡町桜まつり2019』では、バスによる帰還困難区域内の桜並木の観覧も企画されています。

環境省では、桜並木周辺等を含む特定復興再生拠点区域の除染と建物解体に引き続き取り組んでまいります。



富岡町の帰還困難区域においては、特定復興再生拠点区域復興再生計画（2018年3月認定）に基づき、2018年7月より除染と建物解体を進めておりますが、環境省では、この拠点計画に先立ち、2016年7月より桜並木周辺等（上図参照）について除染と建物解体を進めてまいりました。

特定廃棄物埋立処分施設への搬入状況

平成 31 年 3 月 22 日

【最新の進捗状況】

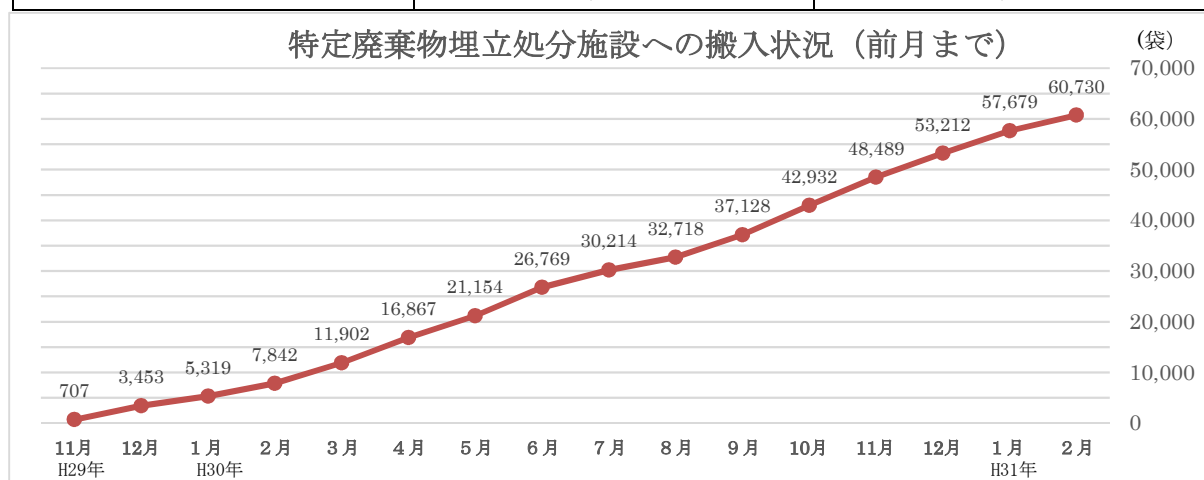
搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
3/13～3/19	993	62,826

※搬入は平日のみ実施しています。

※搬入量（袋数）は天候や調整状況により変動します。

【これまでの進捗状況】

搬入量（袋数）		
期間	実績（袋）	累計
平成 29 年 11 月～平成 30 年 2 月	7,842	7,842
平成 30 年 3 月	4,060	11,902
平成 30 年 4 月	4,965	16,867
平成 30 年 5 月	4,287	21,154
平成 30 年 6 月	5,615	26,769
平成 30 年 7 月	3,445	30,214
平成 30 年 8 月	2,504	32,718
平成 30 年 9 月	4,410	37,128
平成 30 年 10 月	5,804	42,932
平成 30 年 11 月	5,557	48,489
平成 30 年 12 月	4,723	53,212
平成 31 年 1 月	4,467	57,679
平成 31 年 2 月	3,051	60,730
平成 31 年 3 月(19日まで)	2,096	62,826



搬入状況や環境モニタリング結果など、特定廃棄物埋立処分事業の進捗状況については、ホームページにて公表しています。

http://shiteihaiki.env.go.jp/tokuteihaiki_umetate_fukushima/progress/